

「令和8年度市内企業等の宇宙産業参入支援等業務委託」
公募型プロポーザルに係る質問への回答

【質問1】 本事業における宇宙産業（宇宙ビジネス）の対象範囲について

本事業の支援対象となる産業とは、衛星開発や衛星データ活用など、いわゆるモノづくりを主流とした工学系の産業に限られるのでしょうか？例えば、宇宙食や宇宙教育、宇宙旅行、宇宙エンタメなどの非工学系のテーマは対象外となりますか？

【回答】

仕様書においては、衛星開発等のモノづくりに重点を置いた記載もありますが、本事業全体としては広く宇宙産業への参入を支援することを目的としており、非工学系のテーマを対象外とする趣旨ではありません。

【質問2】 リストアップ会議の開催形式について（仕様書4項(2)①）

月1回程度の会議は、対面での開催を想定されていますか、あるいはオンラインでの開催も可能でしょうか。対面開催の場合、会場は特定されているのでしょうか？業務実施体制の構築や、旅費等のコスト算出の参考にさせていただきたい意図です。

【回答】

月1回程度の会議は、対面またはオンラインでの実施を考えております。最初の打ち合わせなど、対面が効果的である場合は対面、対面でなくてもよい場合はオンラインでの開催も可能です。対面の場合は、北九州市役所内会議室、または展示会等の前後で、当該開催場所付近での実施も想定しています。

【質問3】

宇宙ビジネスネットワーク会員向け勉強会について（仕様書4項(3)）

実施回数「3回程度」について、昨年度事業の仕様書では「4回程度」のようでした。実際の開催回数実績と、開催会場の実績（会場施設名）をご教示いただけないでしょうか？費用算定の参考にさせていただきたい意図です。

【回答】

昨年度の開催実績は以下の通りです。

開催回数：4回、会場：ATOMica 北九州（1回）、COMPASS 小倉（3回）

【質問4】 伴走支援のフェーズについて（仕様書4項(4)）

支援対象の5~6団体は、すでにFAISの補助事業に採択されている団体を指しますか、それとも採択を目指す前の検討段階の企業も積極的に含む想定でしょうか。支援のスタート地点がどのフェーズかにより、専門人員の配置を検討するためです。

【回答】

FAISの補助事業に採択されている企業や大学等を想定していますが、その他北九州宇宙ビジネスネットワーク会員の中で、製品・サービスの事業化につながる可能性が高い企業や大学等についても対象としており、その場合は今年度以降のFAISの補助事業の採択を目指す企業や大学等が含まれる場合も考えられます。

【質問5】 展示会場支援について（仕様書4項(5)）

宇宙関連の展示会は多数存在しますが、北九州市様として特に指定（希望）する展示会についてご教示ください。また、昨年度は4か所以上という仕様でしたが、どの展示会に出展されたかの実績についてもご教示いただけるのでしょうか？展示会や出展ブースの規模により出展料に差異があるため。

【回答】

仕様書に記載の、NIHONBASHI SPACE WEEK、宇宙科学技術連合講演会、国際宇宙産業展などのうち2か所以上最大3か所の出展を想定しています。

昨年度実績（4か所）は以下の通りです。

- ・九州宇宙ビジネスキャラバン 2025 in 鹿児島
- ・日本橋スペースウィーク
- ・宇宙科学技術連合講演会
- ・国際宇宙産業展

【質問6】 事務局運営における情報発信の内容について（仕様書4項(6)②）

メルマガ配信において、北九州市様が保有する既存の配信システム（ツール）を利用する形でしょうか、あるいは受託者が独自に配信プラットフォームを準備し、運用する必要がありますか。

【回答】

既存の配信プラットフォームはありません。配信に必要な情報については市から提供させていただきますので、それを基に受託者側で独自に管理・配信を行っていただく必要があります。

【質問7】

「4 業務内容 （1）宇宙関連企業・大学とのマッチングや拠点化を見据えたニーズ等調査分析 ①宇宙ビジネスネットワーク会員企業へのシーズ調査」について、「また、調査の結果、製品・サービスの事業化につながる可能性が高い企業に対しては、北九州産業学術推進機構（FAIS）で実施している宇宙関係補助事業の実施を問わず、（4）に記載のとおり伴走支援業務を行うこと」とありますが、この項目での伴走支援の社数の想定はございますでしょうか？

【回答】

（4）記載のとおり、FAIS 補助事業を実施している場合も含めて、5～6団体程度を想定しています。

【質問8】

「4 業務内容（1）宇宙関連企業・大学とのマッチングや拠点化を見据えたニーズ等調査分析 ②宇宙関連企業・大学のニーズ調査」について、この調査対象は市外の宇宙産業参入済み企業・大学という理解でよろしいでしょうか？

【回答】

市内にも参入済みの企業や大学等がありますので、市内外の宇宙産業参入済み企業や大学等と考えています。

【質問9】

「4 業務内容（1）宇宙関連企業・大学とのマッチングや拠点化を見据えたニーズ等調査分析」の実施時期の想定はございますか？

【回答】

今年度中にその後のマッチングや勉強会などにもつなげていきたいため、7月頃を想定しています。

【質問10】

「4 業務内容（4）宇宙関係補助事業を行う企業や大学等への伴走支援（5～6団体程度）」について、補助事業採択事業者の決定時期はいつ頃になりますか？

【回答】

令和8年度の本補助事業の採択時期は7月下旬頃の見込みです。